

会 議	令和7年度（第1回）グループホーム北部支援センター 地域連携推進会議 会議録
開催日時	令和7年12月11日（木） 13:00～17:00
開催場所	グループホーム北部支援センター 個別相談室
構成員	A氏（ご利用者） B氏（ご利用者家族） C氏（地域関係者 上築山町 町内会） 森口 竜治（所長） 村田 千雅子（係長）
議題・内容	<p>1) 地域推進連携会議について 会議の趣旨と目的について所長より説明する。</p> <p>2) 会議構成員のご紹介 A氏：Sホームに入居しています。グループホームで30年ほど生活しています。今日はよろしくおねがいします。 B氏：Eホームに息子が入居しています。息子は支援学校卒業後、母親の体調が思わしくなく早く自立させたいと思い通勤寮に入寮し、土日は帰宅して家族と過ごしていました。卒業後にEホームに入居しています。今日はホームの見学ができるので勉強させていただきます。 C氏：この地域で育ち、就職してからはいろいろな都市を転勤していたが、定年して京都に戻ってきて10年経ちました。 昔（約50年前）、京都市の施設を作ることになり、地域は反対していたが、実際に施設が建ってみると、人の出入りが多くなり、良い環境ができました。通勤寮がなくなるかもしれないと噂が出たときは、逆に通勤寮がなくなることに反対が出たことを覚えています。今日はよろしくおねがいします。</p> <p>3) グループホーム見学（7ヶ所） 参加者全員で見学していただいた後、感想をお聞きする。 ○見学ホーム（見学順）： ①築山（T） ②紫野（M-1） ③円町（E） ④丸太町（M-2） ⑤いなば（I-1） ⑥今出川（I-2） ⑦紫明（S） A氏：I-1ホームのように、1階と2階とに別れているホームもいいかもしれない。 B氏：女性ホームのほうが、明るくてきれいな気がする 息子の住んでいるホームはとくに息が詰まる気がする。 女性ホームで、2階のカーテンが閉めっぱなしのところがあったのが気になりました。近隣からの視線を気にされる利用者がおられるとはいえ、自然光にあたるのはたいせつではないか。カーテンを開けるこ</p>

とを納得してもらおう働きかけも必要ではないか。

C氏：グループホームのイメージはTホームのような建物だったが、いろいろなタイプの建物があった。Sホームは木の暖かな感じ。I-1ホームは冷たい感じ。ワンルームマンションのI-2ホームは一人で住むには狭いかと思いました。

以下、別紙資料を用いて、所長より説明する。

4) グループホーム北部支援センターの事業について

- ・事業所概要と利用者の状況
- ・事業計画と重点方針

5) 非常災害時の取り組みと地域との連携について

- ・事業継続計画（BCP）
- ・地域との交流、連携

6) 構成員からの質問、ご意見など

A氏：グループホームで気になっていることは、部屋の掃除を手伝ってほしい。買い物も手伝ってほしい（洋服など）。

職員のほうから声をかけてくれると嬉しい。

B氏：以前、息子のホームに行ったときに、電球が切れていたが、なかなか交換されていない期間が長かった。速やかに交換してほしい。

室内に空気がこもっていることが多いので、エアコンの定期清掃も必要かと思う。息子は暑い寒いに関する感覚が鈍いので、季節の変わり目などには服装の助言をしてほしい。

C氏：行事や、イベントはありますか？

→回答：毎年、ホームごとや居住ホームの垣根を越えた希望者を募って外出レクリエーションを実施しています。今年は京都タワーでのバイキングやUSJ、通天閣、ニフレル、温泉などに行きました。

その他、年末年始やクリスマスに、利用者の皆さんから希望をお伺いして、特別なメニューを提供しているホームもあります。

ホームの隣に住んでいるが、町内の人たちと、利用者の方はわかるが職員はどんな人が働いているのかが見えないな、と話している。また、建物の周辺に落ち葉がたくさんあるが、週一回でも掃除をしてもらえば、近所の人たちと顔見知りになる機会になる。日頃から、近所の人と会ったときに挨拶を意識していただくことで、挨拶から始めて、次第に世間話ができるようになればいいかと思います。

→回答：貴重なご意見をありがとうございます。近所の方に顔を覚えていただけるよう、まずは、挨拶からしっかりしていくよう

	職員に周知していきます。
その他	特になし